

フロンティアスクール中間報告書

都道府県名

新潟県

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	新発田市立東中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	4	4	2	13	23
生徒数	114	130	138	5	387	

研究の概要

1. 研究主題

・研究テーマ 学ぶ意欲を高める指導の工夫

・テーマ設定の趣旨

本校の生徒の授業態度は全体的に落ち着いており、与えられた課題に対して、まじめに取り組むことができる。しかし、全国標準学力テスト（NRT）で多くの教科が全国平均を下回り、基礎・基本の確実な定着が不十分であることが分かった。実際、授業でも受け身の姿勢で、自分から進んで学習しようとする態度に弱さがみられる。そのため学習の内容をわからないままにしてしまうのではないかと考えられた。そこで、指導方法を工夫し分かる授業を展開すれば生徒の学ぶ意欲が向上し、学力も向上するのではないかと考えた。

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

- ・1・3年英語 3年数学
習熟度別少人数指導により、きめ細かな個に応じた指導を行い学力向上を目指す。
- ・全学年全教科
意欲をもって学習する生徒の育成を目指す。
- ・基礎学力テスト 全学年 国語・数学・英語
基礎学力をつけると共に、家庭学習の習慣化を図ることを目指す。

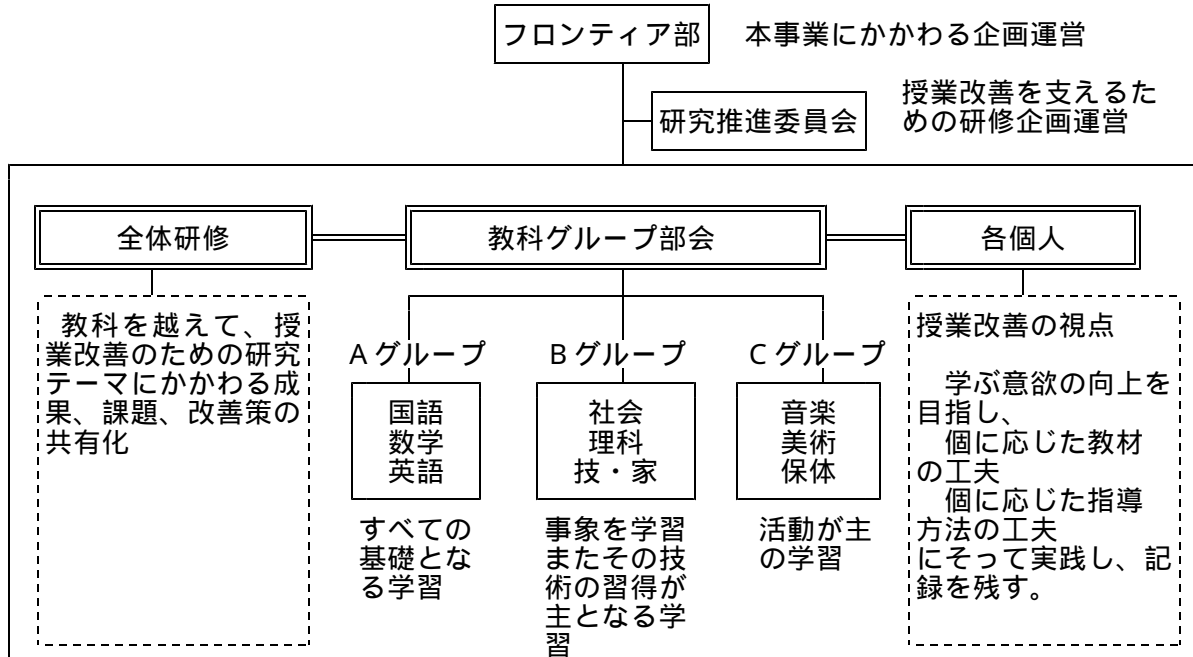
(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 学ぶ意欲を高める指導の工夫</p> <p>研究の見通し（仮説） 個々の生徒に応じた指導を工夫し、生徒の学習意欲の向上にむけての研究を行う。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別少人数指導による授業改善（1年英語・3年数学） ・個に応じた教材・指導方法の工夫（全教科） ・基礎学力テストの実施と事前事後指導の工夫（国語・数学・英語） ・質問教室の実施 ・大学生によるインターンシップの活用（英語）
--------	---

平成16年度	<p>テーマ 学ぶ意欲を高める指導の工夫</p> <p>研究の見通し 平成15年度の課題を解決するために引き続き、個に応じた指導の工夫と授業改善をしていく。さらに、生徒の学習意欲の評価方法の研究を行う。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別少人数指導による授業改善（1・2年英語 1・2年数学） ・個に応じた教材・指導方法の工夫（全教科） ・個々の生徒の習熟度に対応できる基礎学力テストの工夫（国語・数学・英語）
--------	---

- ・基礎学力テストの事前事後指導の工夫（質問教室運営方法の改善）
- ・大学生によるインターンシップの効果的な活用

(3) 研究推進体制



本校では、全教科で授業改善を行っていくため、教科グループ部会を設けた。それぞれ教科の特性で分けたものである。各教科グループで話し合うことで授業改善の共通項を探ることが可能と考えた。また、他教科の授業について意見交換することはいろいろな視点から授業を考えるのに有効である。

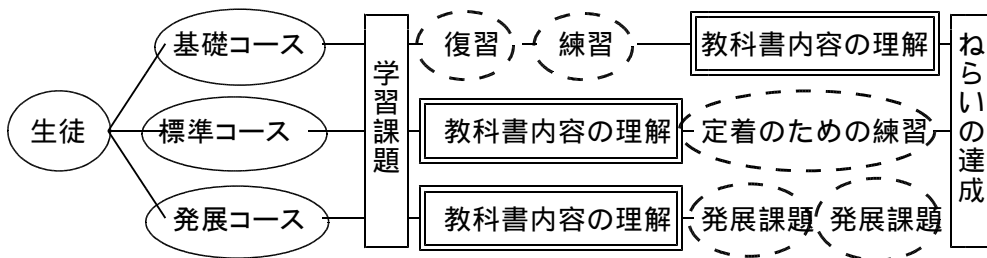
平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究の成果

(1) 習熟度別少人数指導

実践内容

個々の生徒の習熟度別コースに応じて、学習課題の設定や教材（ワークシート）の工夫を行う。コースにより過程が異なり、1単位時間での目標もコースにより異なるときがある。



成果

ア 学習意識調査では、「授業内容がよくわかる」と答えた生徒が82%いた。「この先も習熟度別少人数指導の学習方法はあったほうがいい」と答えた生徒も82%おり、習熟度別少人数指導を好意的に感じている。

イ 学習への取組について、84%の生徒が「自分の力で問題を解くようになった」、81%の生徒が「人の話をよく聞くようになった」と答え、前向きな姿勢を示すようになってきていることがうかがえる。

1 年生英語での実践例

【单元名】 旅立ちの日

【本時の指導内容】 W here . . . ? の文と応用の形の導入、理解。

【習熟度別での工夫点】

・コースごとに、生徒の習熟度にあわせた課題設定とワークシートの活用の工夫。

基礎コースでの課題設定は、基本を押さえるため最小限の設定で行い、繰り返し練習を行うようにした。また、標準コースでは、基礎コースより課題を実際の身の回りの様子に近づけ、より多くの練習ができるよう設定した。さらに、発展コースでは学習の導入として図を用い、教科書の本文読解を通してさまざまな表現に応用する練習を行った。

また、標準コースは2コース設定し、同一内容で進むことを原則とするが、本時は実態に応じて学習形態を変えた。課題提示後、標準コース1ではペア活動で、標準コース2では班活動で課題に取り組んだ。

3 年生数学での実践

【单元名】 関数

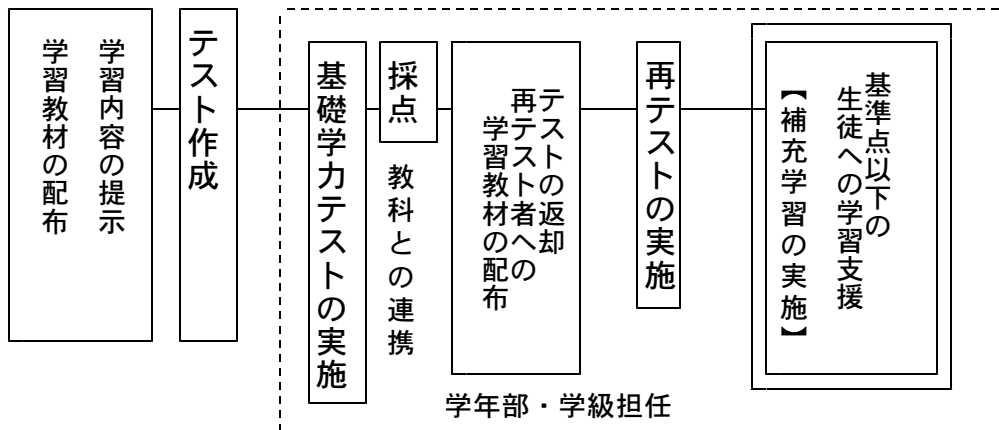
【本字の学習内容】 一次関数ではない関数があることへの気づきまたはその理解。

【習熟度別の工夫点】 コースに応じた課題の提示と学習形態の工夫。

数学科では、習熟度別の利点を生かすため、基礎コースの人数を11名に絞った。学習形態としては、基礎コースは徹底した個別指導、標準コースは生徒同士のかかわりを取り入れ、互いに教えあうことができるよう小集団で、発展コースでは生徒の追究したい課題も多様であり一人一人の学ぶ意欲を伸ばすため個別指導中心と、コースにより学習形態を工夫した。

生徒に与える教材も、生徒の実態に応じてより細かな思考ステップを踏ませる工夫を組み入れた学習ワークシートを作成した。

(2) 基礎学力テストの実施と事前事後指導
実践内容



成果

ア 基礎学力テストが「自分の役に立っている」という生徒が70%いる。そのうち、どのように役立ったのかの問いに、「家で勉強するようになった」28%、「勉強がわかるようになってきた。」26%、「やる気がでてきた」20%、「勉強方法がわかってきた」18%になった。このことから、家庭学習の支援に効果があったと考えられる。

イ 基準点以下の生徒に対する学習支援として、さらに学習教材を配布したり学習量を増やすなどの策を講じることで、学習内容の定着が向上した。

	国語	数学	英語
第1回テスト	77%	55%	45%
再テスト	90%	89%	75%

80%以上の
正解率の生徒
の割合

(3) 大学生によるインターンシップの活用
実践内容

新発田市内に敬和大学がある。当校では一昨年度から大学生に週に1回来校してもらい、担当教諭の指導の下で、生徒の英語学習の支援を行ってもらっている。今年度も大学の協力により10名の学生がインターンシップに参加している。現役大学生の協力を得て、よりきめ細かな指導ができる体制で学習を進められるようにする。これは、個に応じた指導というだけでなく

学習効果をも高めることもねらいである。

- ・ 毎週水曜日の午後、敬和大学生によるインターンシップ制度によるT T指導を活用している。
- ・ 1学期は3年選択 の時間、2学期は1年選択英語、3年選択英語の2時間にインターンとして参加してもらう。

成果

生徒一人一人に細かな対応ができ、生徒の学習意欲が向上してきた。

2. 今後の課題

- (1) 習熟度別少人数指導について
学習環境の整った教室を確保する。
個々の生徒に合わせた教材作成の必要があり、特に英語では基礎から発展まで幅広く対応できる教材の作成が必要である。
コースごとに効果的な指導を受けるためには、日常的な教師の研修が必要である。
- (2) 基礎学力テストの実施と事前事後指導のあり方
努力している生徒が確実に増えてきている。さらに、意欲的に学習させるための手立てを検討する必要がある。
事後指導の補充学習は学年単位で対応してきたが、完全な習得までにいたらなかった。
支援を必要とする生徒が途中であきらめてしまう時があった。指導にかかる時間と人手の確保が望まれる。
- (3) 質問教室の実施については、生徒の自主的な参加が少なく効果が期待するほど上らなかった。
運営方法を検討する必要がある。
- (4) 大学生によるインターンシップの活用について、きめ細かな対応ができる点では評価できるが、学習内容を深めるまでには至らなかった。大学生との打合せ時間の確保が必要である。

学力把握のための学校としての取組

全国標準学力テストN R T
全学年4月実施前年度の学習内容の定着度を測定し把握する。
全国標準学力テストC R T
3学年4月実施前年度の学習内容の到達度、及び評価基準の妥当性をみる。
基礎学力テスト月1回(15分)学習内容の定着度及び家庭学習への取組度をみる。
学習意識調査10月実施 学習への意欲の変容をみる。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 1 平成15年7月11日(木) 指導主事訪問時
研究授業 国語・理科・音楽(教科グループごと)。
少人数指導を実施していない教科における個に応じた授業の公開。
- 2 平成15年12月4日(木) フロンティア中間発表会、及び新発田地域協議会
研究授業 1年英語 3年数学
習熟度別少人数指導のあり方について授業の公開。(保護者も授業参観)
地域内中学校研究主任による少人数指導についての協議。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他
- 【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無